

猪木正道 いのぎ まさみち 政治學者、法學博士。大正二年十一月五日京都生れ
(一九一四)。昭和十一年東京帝國大學經濟學部卒。三菱經濟研究所を
經て、二十四年京都大學法學部教授、退官後防衛大學校校長。

著書 『社會思想史十講』 (合著・社會思想研究會編、昭和二十三年五月一日社會思想研究會出版部)、 『戦う社会民主主義—共產主義との対決』 (昭和二十四年十月十日実業教科書株式會社)、 『こころの共產主義—レーニン・トロツキー・スターリン』 (昭和二十六年五月二十日養徳社)、 『抵抗の學堂生活』 (合著、昭和二十六年九月二十日要書房)、 『戦争と革命』 (昭和二十七年七月二十日雲井書店。再刊。

二十八年十月十五日社會思想研究會出版部「現代教養文庫」)、 『近代日本とキリスト教—明治篇』 (合著・久山康編、昭和二十一年四月十日基督教學徒兄弟団)、 『民主的社會主義』 (昭和二十五年五月二十日中央公論社)、 『戦後日本精神史』 (合著・久山康編、昭和二十八年七月十五日基督教學徒兄弟団、創文社発売)、 『独裁者』 (昭和二十八年一月二十日筑摩書房「グリーンベルト・シリーズ」)、 『随想世界と日本』 (昭和四十年七月二十日有信堂「有信堂叢書」) 等。

譯書、ラッサール著『學問と労働者』
(昭和二十四年一月十日日本評論社
「世界七巨典文庫」) 刊。奥原唯公等
七名合著『猪木正道の大敗北—ソ連
を愛し続けた前防大校長の—言論抑
圧裁判—の真相』 (昭和五十八年七
月二十日新報道) がある。

